

2025 年度第 2 回愛知県環境審議会廃棄物部会会議録

1 日時

2025 年 9 月 12 日（金）午前 10 時 30 分から午前 11 時まで

2 場所

愛知県本庁舎 6 階 正庁

3 出席者

委員 4 名、専門委員 3 名（うちオンライン参加専門委員 2 名）

説明のため出席した者 13 名

4 会議の概要

（1）開会

ア 会議開催の定足数について

定足数を満たしていることが確認された。

イ あいさつ

大谷資源循環推進監

高橋部会長

ウ 傍聴人について

傍聴人 1 名

エ 会議録の署名について

高橋部会長が、小林委員及び土井委員を会議録署名人に指名した。

（2）議事

産業廃棄物税について

事務局から資料説明し、別記のとおり質疑応答が行われた。

（3）閉会

1 議事

産業廃棄物税について

- ・資料1 愛知県環境審議会廃棄物部会（2025年7月17日開催）における委員意見等への対応
- ・資料2 愛知県産業廃棄物税の今後のあり方について（報告）（案）
- ・資料3 愛知県産業廃棄物税の今後のあり方について（概要版）（案）
- ・資料4 部会報告（案文）

について、事務局から説明した後、質疑応答が行われた。

<質疑応答>

【谷川委員】

前回議論した内容が適切に反映されていると思われるため、特に意見等はない。このまま進めていただきたい。

【小林委員】

前回内容について適切に反映されているが、1点確認したいことがある。

資料2の27ページの下から2行目のところで「サーキュラーエコノミーへの転換を図り、資源生産性、循環利用率を高めるとともに」とあり、循環利用率についてはグラフ等で示されているが、資源生産性についてはここまで一度も言及がないと思われる。資料2の13ページには再生利用率と循環利用率のグラフが合わせて記載されているが、例えば、このグラフを尊重するのであれば、少し意味合いが異なるが、資源生産性を再生利用率に修正するか、あるいはここを削除するか。整合性のことであり、記載内容について全く異存はない。

【事務局】

ただいまの御意見を踏まえて、検討させていただく。

【谷川委員】

資源生産性という言葉は、とても大事であり、環境省でも非常に重要な指標の一つになっているため、資料2の今後のあり方において記載したほうがいいと思われる。資源生産性に関するグラフがないという話ではあるが、今後、ここはしっかり考えていかなければいけない重要なポイントであり、文言修正については、バランスを見て修正して頂きたい。

【事務局】

資源生産性については、私どもも今後重要であると考え記載したが、現在はデータを持っていないというところがある。ご意見を踏まえて、修正を検討させていただく。

【土井委員】

公募委員の立場としては、産業廃棄物税が企業等の負担にならずにゴミの削減や環境の改善にどう繋がっていくかを分かりやすく伝えていただきたいと思っている。

また、審議とは関係ないが、生活者として気になっていることがある。食品廃棄についてであるが、東京オリンピックが開催された際に、開会式から1ヶ月でスタッフ向けのお弁当が13万食廃棄され、廃棄率25%に達したという報告を拝見した。来年行われるアジア競技大会においてもこうしたことを防ぐために、例えば、食品リサイクルやフードバンクの活用といったことを仕組みに入れて、今審議している産業廃棄物税を活用してもらえればと感じた。

【吉田専門委員】

指標について盛り込んでいただき、今ないデータについてはこれから検討してもらえればと思う。特に他に意見はない。

【高橋部会長】

前回発言したことについては全て反映されているため、特に意見はない。

皆さんのご意見、ご発言をお伺いしたので、ここで廃棄物部会としての取りまとめをしたい。報告の案は、ただ今のご意見を踏まえ、部会長一任で事務局と文言も含めて調整させていただくということで、ご了解いただけるか。

【全委員・専門委員】

異議なし。

【高橋部会長】

異議はないようなので、取りまとめの上、資料4の部会報告の案文により、付託を受けた環境審議会へ報告させていただく。